

朝日大学「めぐる」(岐阜県)

皆さん、こんにちは。私達は岐阜県瑞穂市から参りました。朝日大学防犯ボランティア団体「めぐる」の加田と申します。私は井上と申します。それでは発表を始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



団体の結成経緯



まず、「めぐる」が設立された経緯を説明します。以前から朝日大学法学部では、刑事法のゼミを中心に、防犯マップ作りや徒歩による防犯パトロールなどの防犯活動が展開されていました。このような中、2010年、警察庁の「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」の実施によって、私達は岐阜県内の大学生防犯ボランティア団体として指定を受けることになりました。

それに伴い、団体名を「めぐる」と名付けました。なぜ団体名を「めぐる」と名付けたかといいますと、「安全、

安心して暮らせる街にしたい」という、「熱い思いを巡らせ、地域を駆け巡り、やがてその思いと活動が、世代を超えて後世に巡ってほしい」というメンバー全員の願いが込められているからです。



これが、私達が作ったユニフォームです。ユニフォームの背中には、鷲のイラストが描かれています。この理由は、鷲は厳しい監視をすることができるという意味からデザインしました。私達の活動を図にするとこのようになります。私達は警察庁から指定を受けたことにより、これまで大学生だけでしか行われなかった活動の幅が更に広がり、行政や地域と連携を図りながらの活動が可能になりました。活動範囲が広がったことにより、私達は様々な活動が展開できるようになりました。

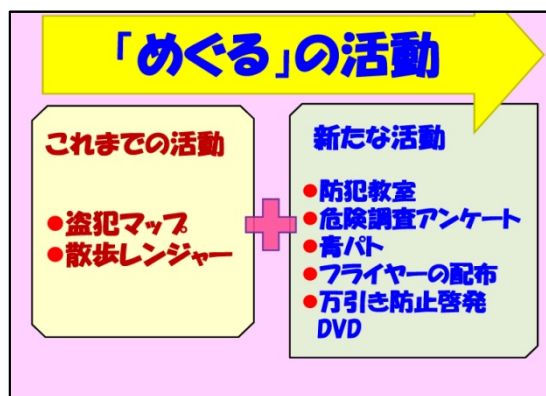
新たにできるようになった活動を図にしたものがこちらになります。では、簡単に、こ

れらの活動を1つずつ紹介していきます。



活動内容

私達の活動は、まとめると6つに分けられます。1つ目は地域の見回りです。この活動は2種類から構成されています。まず、私達学生の徒歩によるパトロール、通称「散歩レンジャー」です。主に危険箇所点検と環境美化を目的とし、大学周辺を私達の足で歩きます。路上のごみを拾いながら、電柱に許可なく貼られたビラや、壁などへの落書き、不審者が出没しそうな周囲からの死角などがないかを調査しています。これは、私達学生ならではの活動であり、このような小さな努力の積み重ねが大学周辺の地域をより安全にしています。防犯パトロールをしていると、地域の方々に声をかけられることもあり、その言葉が私達の活動の原動力になっています。このような地域の方々とのコミュニケーションで、防犯の輪が広がっていくことを改めて感じました。そして、もう1つの見回りが青色防犯パトロール、通称青パトです。週に1回、瑞穂市の職員と一緒に青パトに乗り、市内の小学校全7校の通学路を中心に市内全域をパトロールしています。この活動は、不審者による子どもの誘拐、振り込め詐欺等のアナウンスを流しながら走っており、下校途中の子ども達の安全を見守っています。



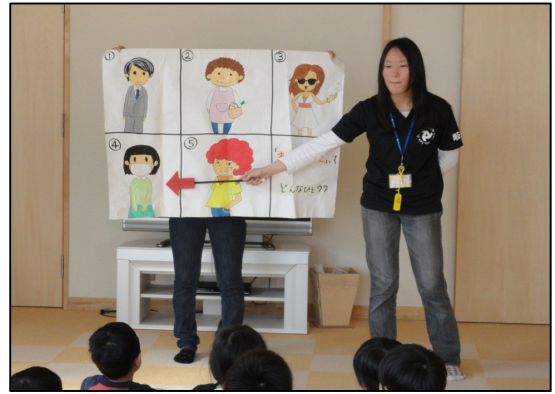
2つ目は防犯教室です。この活動は、園児や児童が犯罪に巻き込まれないために、様々な手法を凝らして防犯について学習指導を行うものです。内容としては、不審者に捕まらないための20メートルダッシュ訓練、騒音測定器を使用して不審者に捕まった場合に大声で助けを呼ぶ訓練で、体験型の防犯教室を行っています。また、子ども達に考えてもらうものとして、不審者とはどういう人かについて考えるクイズ、不審者に出遭った場合を想定した紙芝居などです。これまでに複数回開催してきましたが、最初からうまくいったわけではなく、防犯教室を行うたびに出てくる反省点や問題点を改善し開催しています。



例えば、不審者クイズでは、1度目は実際に「めぐる」のメンバーの5名が赤いアフロをかぶったり、サングラスをかけたりして変装していましたが、あまりに奇怪な格好だったり、動いてしまうため、次の人を紹介していても児童が前に紹介した人を気にしてしまい、考えてもらうということができませんでした。そのため、実際の人物を使うのではなく、イラストに置き換えることで児童達に話

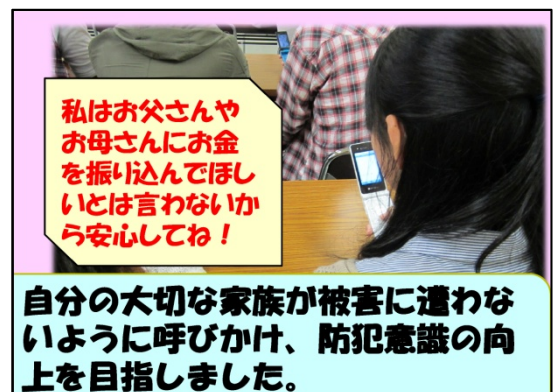
を切り替えやすくしてもらえるようにしました。また紙芝居では、登場人物を親しみを込めて動物にしていますが、あまり現実味を帯びていないためか、児童達の共感を得ることができませんでした。そのため、よりリアルに感じてもらうために、小学生を題材にしました。

このように、より児童がわかりやすく、飽きないものとなるように努力しています。活動に適したものを既製品で探すことは難しいので、紙芝居や説明に用いるパネルは私達が材料を買い、全て手作りしました。このほかにも、警察と連携した活動として、マクドナルド防犯教室を行ったことがあります。この活動はこれまでに2回行い、ドナルドと一緒にパワーポイントを使用して、子ども達に不審者への対応方法について教えました。コミカルな説明を交えることで、子ども達にいかに興味を持っておもしろく聞いてもらえるか、私達もこの防犯教室から学ぶことができ、良い機会でした。防犯教室を通じて児童に防犯意識を高めてもらい、自分の身を守ることの大切さについてわかってもらえるように心がけ、指導しています。防犯教室開催後、児童からお礼の手紙をいただきました。2年生の女の子からは「紙芝居やクイズで不審者がなぜ危険なのかがわかりました」と、また、5年生の男の子からは「20メートル不審者から逃げ切れば、もう不審者はついてこないことを教えてくれてありがとう。もし不審者に出遭った場合は、実践したいと思います」と、このように温かい言葉を受けて、一生懸命活動をしてよかったと本当に実感しました。



3つ目は防犯啓発活動です。この活動も2種類あります。

1つ目として、大学の新生とその御家族の防犯意識を高めるために、振り込め詐欺被害防止活動を行いました。振り込め詐欺の被害にあった方の大半は、振り込め詐欺を知っていた方です。振り込め詐欺被害を防止するためには、より一層防犯意識を向上させる対策が必要となります。そこで、私達はこの活動を「家族にメールを送ろう大作戦！！」と称して、大学の新生と一緒に、家族の振り込め詐欺被害を防止するために行いました。普段、面と向かっては言い辛いこともメールという何気ない日常生活のコミュニケーションを用いることで、「私はお父さんやお母さんにお金を振り込んでほしいとは言わないから安心してね！」という文章で、家族に呼びかけました。自分の大切な家族が被害に遭わないよう自らが呼び掛け、また、各々の防犯意識を向上させることができました。



2つ目に、市民の防犯意識を高めるために、地域のショッピングモールでのチラシ配布、お店や駅、銀行などでの手作りのチラシ入りティッシュを配布する活動を行っています。自治体や警察署だけでなく、地元の防犯ボランティア、そして高校生らで構成されたMSリーダーズなどとも連携を図るなど、防犯活動だけでなく、幅広い年齢層の方々との交流も大切にしています。また、実際に配布したものがこちらになります。このデザインは、私達学生が画

像処理ソフトなどで作ったものです。制作にあたっては、いかに分かりやすく伝えるかという点にこだわり、みんなで意見を出し合いながら、ビジュアルやキャッチコピーを考えています。

最近では、私達で新たな広報活動の企画を立てて行いました。東海地方に本店を置く十六銀行でこのようなものを配布し、振り込み詐欺の注意を呼びかけました。そのほかにも自転車の防犯登録と二重ロックの点検なども行っています。さらに、岐阜県警察本部生活安全総務課、自動車盗難等防止協会、岐阜県防犯協会とともに、ホームセンターでの車上ねらいや空き巣の注意を呼び掛ける広報活動を行いました。こちらが活動の際に配布したものです。ここでは、岐阜放送、中日新聞、読売新聞、毎日新聞といった多くのメディアに取り上げられました。このように周りの団体との連携や、学生の独自性を持ち合わせることで地元のメディアなどにも注目され、地域の方々からの認知度も広がりました。



4つ目は、万引き防止啓発DVDの作成です。万引きの実情を全国に伝えるために、岐阜県警察本部と岐阜放送で協力して撮影しました。これは地元のテレビ番組で放送され、現在は、全国の警察を通じてレンタルも可能となっており、反響が大変大きいと伺っています。それがこちらになります。

5つ目は危険体験アンケート調査です。このアンケートは「めぐる」の企画から始まったもので、それを進める上で警察の人達と相談し、市の教育委員会を通じて小学校に依頼したものです。このアンケートは、瑞穂市内にある小学校全7校の1年生から6年生を対象に行いました。集計したアンケートの総数は3,152枚です。アンケートの



実施の目的は、児童が受けた犯罪や危険だと思ったことなど、子ども目線の街の実情を知るほかに、アンケートを通じて児童の防犯意識を高めてもらいたいと思い、行いました。

質問は16項目で構成されており、アンケート形式で答える形になっています。質問からは、危険な体験をしたことがあるか否か、あるとすれば、いつ、どこで、誰が、どのような人に、何をされたかなど、具体的に把握できる形式になっています。他にも、「児童が防犯ブザーなどの防犯グッズを持っているか」、「通学路には子ども110番の家が存在していることを知っているか」といった内容の質問で、児童がどの程度防犯意識を持っているのかを知ることができます。集計したデータを読み取りやすくグラフにしていき、そこからわかる事実や問題を議論し、お互いの意見を交換していききました。そしてカテゴリーごとに分けて解決策を考え、また、アンケート結果から浮上した問題点を踏まえ、防犯教室の内容を充実、改善などしていくほか、行政や民間企業などとの連携による新たな企画を展開していきたいと考えています。

6つ目は防災教室です。これは現時点では企画準備段階ですが、これまでの防犯活動に加え、新たに防災活動を展開するものです。昨年の東日本大震災を鑑み、市民の方々が防災について強く関心を持つようになりました。そのような中、私達は一人暮らしの学生に焦点を当て、個人から始められる防災について私達がレクチャーをできたらと思い、目標を立て、これを企画しました。主な内容としては、震災によって起こりうる事故を未然に防ぐためにはどのような対処が必要になるかということをテーマに取り上げ、クイズや寸劇などでわかりやすく説明できるものを取り入れながら、今日から実践でき、かつ受講していただく学生が楽しくわかりやすく学べる教室にしたいと考えております。

防災教室

一人暮らしの学生を焦点に当て、個人から始められる防災を企画

内容は、震災によって起こりうる事故を、未然に防ぐための対処法をテーマにし、クイズや寸劇などを取り入れながら、今日から実践でき楽しくわかり易く学べる教室

今後の抱負

最後に、今後の抱負となりますが、現在「めぐる」は大学所在地区を主として活動を行っています。

今後の抱負

◆活動地域の拡大

岐阜県全体が安全・安心な社会に!!

◆対象者を幅広い世代に

子供から高齢者まで

もちろん、今後もベースとなる活動地域は変わりませんが、今後はさらに他の地域にも活動範囲を広げ、まずは岐阜県全体が安全で安心な社会になることを目指します。そのためには、他のボランティア団体や他大学との連携強化を図っていききたいと考えています。また、活動の対象者も、これまでは児童、生徒が中心でしたが、今後は高齢者も対象に含め幅広い世代に対して、普及、啓発していきたいと思っています。

今後、瑞穂市では新たに民間交番構想が議論されています。「めぐる」のメンバーや朝日大学の学生が、各種行政機関や他の団体と意見を交換し、これまでの経験を活かしながら防犯について地域の人々に指導していく、あるいは、防災に関する勉強会を開催していきたいと思っています。そして、民間交番が創設された折りには、微力ではありますが、地

域の活性化に携わっていきたいと考えています。これから、今まで以上に協力、応援してくださる方々に対し、感謝する気持ちを忘れずに活動していきたいと思います。これで私達の発表を終わります。御清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問 皆さんの活躍、大変感動しております。そこで、なぜボランティアを始めたのか。それから家族に対してボランティアメールを送ろうと働きかけても、なかなか送ってくれない学生もいると思います。そのような大学生の温度差をどのように解消したのか。また、警察と連携を図っているのか。具体的に教えていただければと思います。

○回答 まず、なぜ始めたのかについてです。これは本当に人それぞれに理由がありまして、私は岐阜県の大学に進学したことにより、岐阜に下宿することになりました。そのため、自分の住む街をもっとより良くしたい、安全安心に暮らせる街にしたいと思い活動を始めました。

○回答 私は高校生の時から生徒会やボランティアなどの活動を行っていました。そのため、大学に入ってから何か大学と関係しながら、そして大学周辺の地域もよく知りたいと思い、ボランティアを始めました。

○回答 次に温度差についてです。もちろん温度差はあるかと思います。全員がメールを送ってくれたのかチェックしてはませんが、朝日大学の学生は積極的にこのような活動に協力してくれますので、メールは送信してくれていると思います。また、警察との連携についてですが、週に1度～2度という頻度で岐阜県警の方が活動に参加してくださっています。以上になります。

●質問 学業が本業である大学生の皆様方が、こういう活動をなさるのはいつでしょうか。例えば、週のうちに何日とか、どういう時間帯を利用しているのかということです。また、皆さんは出身地が違いますが、卒業した後も地域に戻ってボランティア活動を広めていきたいということを伺いました。そこで逆に、新入生の方々にはこのボランティア活動をどのように伝えていくのか、その手法があったら教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○回答 週に2度、毎週火曜日と金曜日に16時半から2～3時間ほど時間を決めて行っております。しかし、それ以外にも、個人でこの日は集まろうとメンバー同士で決めて行うこともあります。新入生の勧誘ですが、ほぼ毎年ポスターを自分たちで制作して校内に貼っています。また、大学で活動報告会という機会を与えていただいていますので、その場でプレゼンテーションを行いPRしています。